

平成27年度 第1回横浜市勤労者福祉共済運営審議会会議録

- 《日時》 平成27年6月29日（月）10時00分～10時45分
《開催場所》 横浜市技能文化会館5階特別会議室
《出席者》 荒木委員、木下委員、石原委員、永田委員、石田委員、内山委員、長井委員、伊藤委員、木場委員、小柳委員、竹内委員、堤委員、福田委員
《欠席者》 兼松委員、須永委員
《開催形態》 公開（傍聴者0人）
《議題》 （1）平成26年度横浜市勤労者福祉共済事業の実績について
（2）その他
《決定事項》 （1）会議録確認は、小柳委員が行う。
（2）平成26年度横浜市勤労者福祉共済事業の実績について議案通り了承された。
《議事》

【開会】

（事務局）定刻になりましたので、ただ今から横浜市勤労者福祉共済運営審議会を開催いたします。

（会長）平成27年度第1回「横浜市勤労者福祉共済運営審議会」を開催いたします。

【審議会会長あいさつ】

【市民経済労働部長あいさつ】

【出席委員数報告】

（事務局）次に、出席委員数を報告いたします。本日は、現時点で15名の委員のうち、13名の委員にご出席いただいております。従いまして、横浜市勤労者福祉共済条例第16条第2項に規定されています半数以上の定足数を満たしており、本審議会が有効に成立していることを報告申し上げます。

【議事】

（事務局）それではこれ以降の進行につきまして、荒木会長にお願いしたいと思います。

（会長）それでは議事に入りますが、その前に、「審議会運営要領第6条第2項」による会議録の確認について、本日の審議会の会議録確認者の提案をさせていただきます。これまで順次確認をお願いしてまいりましたが、今回は小柳委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

（各委員）異議なし。

（会長）それでは、まず、平成26年度横浜市勤労者福祉共済事業の実績について、事務局から説明をお願いいたします。

（配付資料に基づき、平成26年度横浜市勤労者福祉共済事業の実績について事務局から説明）

（会長）それではただ今ご説明いただきました、平成26年度横浜市勤労者福祉共済事業の実績につきまして、皆様からのご意見・ご質問などをお願いいたします。

（委員）保養所8施設の利用人数の内訳を教えてください。また、どの施設の利用が多い等があれば教えてください。

（事務局）保養所は各施設につき2部屋を借上げており、基本的には各施設とも同様の利用状況になっていると思いますが、手元にデータがないため、詳細については別途ご報告いたします。

（委員）平成26年度の決算概要について、予算と大幅に変わった部分があれば教えてください。

（事務局）まず、歳入ですが、会意数増により予算に対して掛金収入が増加しています。また、基金繰入金予算に対して若干減となっています。

次に歳出ですが、予算に対して、総務費は若干減、給付費はほぼ同額、福祉事業費は若干減となっています。

(会長) ハマふれんどニュース6・7月号が皆様のお手元に届いていると思いますが、その内容等についてはいかがでしょうか。

(委員) 私の会社では、平成27年度になって社員からの反響が大きく二つありました。「スポーツジム(の割引対象施設)が増えて、自身が行っている施設が対象となり安く利用できてよかった」という意見と、「ディズニーランド付近にあった保養所が利用できなくなって残念」という意見です。今後の話になると思いますが、企業ごとのサービス利用状況を教えていただければ、自社の状況も把握でき、審議会で意見を申し上げやすくなると思いますし、社内での利用促進にもつなげられると思いますがどうでしょうか。

(事務局) 事務局にも「保養所がなくなって残念」というご意見をいただいています。今後、宿泊補助の制度内容や利用方法の周知を強めていきたいと思っています。なお、企業ごとの利用状況については、ご議論を深めていただくことにお使いいただければと考えていますが、まず、データをどのように抽出できるかなどをお調べし、ご提供可能な方法を確認した上で、(次回の審議会から)ご提供できればと思います。

(会長) 他にご意見等ありますでしょうか。

(各委員) 特になし。

(会長) なければ、事務局から何かありますでしょうか。

(事務局) 平成27年度は制度変更も有りましたので、今年度の状況及び会員の皆様からのご意見について、事務局からご説明させていただきます。

(事務局から4月以降の利用状況の説明、及び会員の皆様からの主なご意見のご紹介)

(会長) 他に何かありますでしょうか。

(各委員) 特になし。

(会長) なければ終了したいと思いますが、昨年12月、皆様に業者の選定を行っていただきました。実際に業者を変更したわけですが、その結果について我々も責任を担わなければいけないと私は思っております。

事業・行事等の利用者が増えるということが第一であり、それが会員企業の増加につながります。また、会員企業の増加・事業者の利用が事業内容をますます良くしていくことになると思います。もちろん、受託事業者のご努力も必要です。我々の色々な意見を審議会の場に限らず、お気づきになられた時に事務局にどんどん寄せていただければと思います。是非、皆様よろしく願いいたします。それでは、これで議事は全て終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

【閉 会】

(事務局) 会長、委員の皆様ありがとうございました。これからもハマふれんどを常に使い易く、会員の皆様によりよくご利用いただけるよう努めていきたいと思っています。審議会の会議の場以外でも、お気づきの点、ご意見がございましたらぜひ事務局にお寄せください。なお、次回につきましては、「平成28年度横浜市勤労者福祉共済事業計画案」などを議題として、3月の下旬頃の開催を予定しております。

それでは、これを持ちまして本日の審議会を閉会とさせていただきます。

≪ 資 料 ≫ (1) 平成26年度横浜市勤労者福祉共済事業の実績について